



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2018年 1月 5日 No.213

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

学校に新生代からのタイムカプセル 二枚貝の化石

出前授業で訪れた長門市立日置小学校の校庭に、大きな岩石が展示してあります。よく観察すると、岩にたくさんの二枚貝が埋まっているように見えます。これらは、貝の化石で日置の大内山で採取されたものです。中に入っている化石は、今から約3000万年前のグ
リキメリス（タマキガイの仲間）やドシニア（カガミガイの仲間）だと思われま

す。山口県の北西部、日本海の沿岸地域付近には、新生代古第三紀の日置層群と呼ばれる地層が分布しています。黄波戸温泉（長門市日置上）の海岸付近にある砂岩層では、貝殻の化石が含まれた層が確認されています。日置は、化石の宝庫ですね。 参考文献『やまぐちネイチャリングマップ』



日置小学校の貝化石



貝化石の拡大写真



黄波戸海岸の礫岩砂岩層



黄波戸の貝化石

長門市には、美しい景観をもつ場所がたくさんあります。日置中にある「千畳敷」は、東京タワーと同じ高さの標高333mにある草原です。約800~1000万年前に噴火した玄武岩でできています。「元乃隅稻成神社」で有名な宇津賀半島北端には、国指定天然記念物の「津黄龍宮の潮吹」があります。これは、新生代第四紀の玄武岩が海に浸食されてできた地形です。波が荒いときは、波で削られた洞穴に、海水が勢いよく流れ込み、水しぶきが30mも吹き上がる現象で有名です。油谷地区にある「立石観音」は、高さ約41mの沖の島と約20mの地の島の2つの岩の島からなります。約10万年前に、玄武岩マグマが角礫岩に貫入したもので、五~六角形断面の柱状節理（マグマが固まる際にできる柱状の割れ目）が見られます。植物では、「二位の浜」のハマオモトが群落の自生北限地として、県の天然記念物に指定されています。ヒガンバナ科に属し7~9月に白い花を咲かせます。実は海水に浮き、漂着した浜で育ちます。



千畳敷



津黄龍宮の潮吹



立石観音



柱状節理



二位の浜 ハマオモト

山口博物館では、日置小学校と同じ、日置大内山で採れた貝化石の大きな塊を展示しています。